2026 年 11 月 26 日

報道関係各位

株式会社カネカ
大成建設株式会社
株式会社長谷工コーポレーション

マンション向けガラス手摺一体型太陽光発電システム「発電型バルコニー手摺」を開発
－ 大成建設・長谷工コーポレーションと共同開発 －

株式会社カネカ(本社：東京都港区、社長：藤井 一彦)、大成建設株式会社（本社：東京都新宿区、社長：相川 善郎)、株式会社長谷工コーポレーション（本社：東京都港区、社長：熊野 聡）の 3 社は、建材一体型太陽光発電（BIPV）（※1）の一つとして、ガラス手摺と太陽電池モジュール「Green Multi Solar®（以下、GMS)」を一体化し、マンション向けに最適化した「発電型バルコニー手摺（以下、本製品)」を開発しました。

本製品は、マンション施工の豊富な知見を有する長谷工コーポレーションのノウハウを活かし、集合住宅での使いやすさと導入しやすさを高め、バルコニーに求められるプライバシーへの配慮や意匠性の向上、安全性能の確保など、マンション特有のニーズに対応した点が特長です。あわせて、年間を通じた実証により安定した発電性能も確認しています。

なお、本製品は、長谷工コーポレーションの自社開発マンション「（仮称）品川区南大井 1 丁目計画」（※2）に採用を予定しています。



（仮称）品川区南大井 1 丁目計画　採用イメージ図

今回開発した本製品の特長は次のとおりです。

（1）プライバシーに配慮した設計

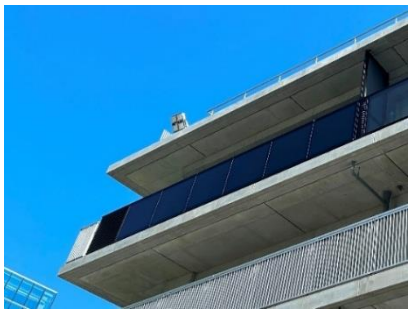
本製品は、発電性能を重視し既存の GMS のソリッドタイプをベースに、室内側の映り込みを低減させることで、隣接住戸などからの視線に配慮しました。マンション居住者のプライバシーに配慮しながら、居住性および快適性の向上を図った設計としています。

（2）バルコニー用途としての安全性・施工性とデザイン性を両立

バルコニー手摺として求められる安全性・施工性を確保するため、端子ボックスや配線の配置を見直しました。これにより、従来のガラス手摺の性能や外観を維持しながら、マンションでの施工・維持管理にも配慮した構成としています。

（3）実証により発電性能を確認

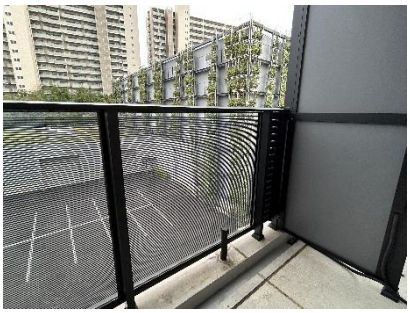
長谷工コーポレーション技術研究所の住宅実験棟のバルコニーに本製品の実証モデルおよびGMSシースルータイプを設置し、2024年8月から2025年9月にかけて発電実験を実施しました。その結果、季節を通じて安定した発電性能を確認しています。



本製品①



本製品②



GMSシースルータイプ

長谷工コーポレーション技術研究所　住宅実験棟に設置した実証モデル

今後は、G.G.Energy株式会社（※3）を通じて、本製品の販売を推進するとともに、長谷工コーポレーションのマンション開発・施工に関する知見を活かしながら、集合住宅における建材一体型太陽光発電（BIPV）の普及拡大を図り、再生可能エネルギーの利用拡大と2050年カーボンニュートラルの実現に貢献してまいります。

以　上

（※1）建材一体型太陽光発電（BIPV）：

Building Integrated Photovoltaicsの略。環境省は民間企業等による再エネの導入及び地域共生加速化事業の一環として、「窓、壁等と一体となった太陽光発電の導入加速化支援事業」を推進。所定の条件を満たせば、二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金の助成対象となる。

（※2）品川区南大井1丁目計画：

所在地：東京都品川区南大井一丁目1702番2（地番）
交通　：京浜急行線「立会川」駅 徒歩約6分
構造・規模：RC造 地上19階建
戸数　：258戸
着工　：2025年3月
竣工　：2028年5月
事業主：株式会社長谷工コーポレーション・株式会社長谷工アネシス
設計・施工：株式会社長谷工コーポレーション

株式会社カネカ
広報（Public Relations）部
東京本社 03-5574-8047　https://www.kaneka.co.jp/

（※3）G.G.Energy 株式会社

大成建設株式会社と株式会社カネカが、建材一体型太陽光発電システム「Green Multi Solar」の販売・企画・設計・提案を目的として設立した合弁会社。2024 年 4 月から本格的に営業を開始し、Green Multi Solar シリーズの普及・販売を担う。

2024 年 4 月 15 日 ニュースリリース
大成建設とカネカによる合弁会社「G.G.Energy 株式会社」の設立について
https://www.kaneka.co.jp/topics/news/2024/nr2404151.html